



立川飛行場への陸上自衛隊V-22オスプレイ飛来について

令和4年11月1日及び2日に北関東防衛局から立川飛行場周辺8市に対し、首都圏における大規模災害発生時の人員・物資の緊急輸送等への備えを目的として、陸上自衛隊V-22オスプレイが令和5年1月以降、立川飛行場へ飛来する旨、説明がありました。

これを受けて、令和4年11月7日ならびに令和5年1月20日に、立川飛行場周辺自治体連絡会から北関東防衛局に対して、周辺住民の安全・安心、生活環境への十分な配慮等について要請しましたが、周辺住民の安全性に対する不安の解消に至っていないとは考えられず、市民や市議会から本件に対する多くの意見が寄せられております。

また、V-22オスプレイが2月1日に初飛来する通知を受けましたが、オスプレイ飛来を不安に考える市議会議員、周辺住民から飛来中止を求める声が寄せられております。

このため、周辺住民の不安解消に向けて下記事項について改めて要請いたします。

【1 住民説明会の実施】

○周辺住民の不安解消に向けて、国の責任において住民説明会を実施すること。

【2 転換モードの説明】

○転換モードで飛行する範囲の説明。(立川飛行場周辺の飛行訓練における具体的な地点が示せない場合は、V-22オスプレイの一般的な運用における転換モードによる飛行範囲を示すこと)

【3 事前通知】

○飛来の際は毎回、事前通知すること。通知には飛来日時、機数、期間を含めること。

令和5年1月30日

北関東防衛局長 扇谷 治 殿

国立市長 永見 理 夫

